

金城 ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告



ごあいさつ

令和4年の新年を迎え、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の「デルタ株」から「オミクロン株」への変異で感染の急拡大が懸念されます。感染対策の切り札であるワクチン接種の3回目接種を迅速かつ円滑に実施されることと治療薬(飲み薬)等の早期の普及で国民の命と健康を守る取組みが望されます。

昨年10月31日の衆議院選挙では、自・公連立政権が選択されました。未曾有のパンデミックの中で、総じて安定した政権での国政運営を託されたものと捉えております。

また、今年1月23日投票の名護市長選挙では、2期目に挑んだ渡具知武豊現職候補が、1期4年の実績が評価され市民の皆様からの信任を得て今後の名護市政の舵取りを託されました。応援した一人

として、市民生活第一の市政をつくるために鋭意努力してまいります。皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

議会報告



金城善英 HP

第205回名護市定例会(12月定例会)は、令和3年12月2日から12月20日までの会期で行われました。令和3年度名護市一般会計補正予算(先議第8号)を含む市長提出議案17件、報告1件、同意2件、陳情8件、追加議案として、市長提出議案4件、議員提出意見書案2件、決議案1件、動議1件が審議されました。さらに陳情6件が各常任委員会へ付託されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第135号(3月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

12月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、新型コロナウイルス感染症拡大への対応について

政府が11月19日に閣議決定した経済対策の国民の暮らしを守る支援策や、同月26日には新型コロナウイルスの新たな変異ウイルス「オミクロン株」が南アフリカなどで見つかることを受け、同国をはじめ6カ国(11月29

日午後1時過ぎに岸田総理大臣から11月30日前0時から全世界からの外国人の新規入国を原則停止との発表があった)を対象に水際対策を強化すると発表しました。感染の第6波への備えとともに市民の皆様の命と健康、暮らしを守るために家計への支援策が求められています。以下、具体的な取組みをお伺いします。

質問(1) 新型コロナワクチン接種の状況と3回目接種の円滑実施に向けて

希望する方がおおむね接種できている。3回目を希望する方が早期に接種できるよう取り組む

質問(2) 18歳以下(高校3年生まで)の子育て世帯に向けた新たな給付について

答弁 新生児含めて1万3,532人を想定。中学生以下は児童手当の仕組みを活用し先行して年内に給付を開始する。高校生については順次申請により給付する

質問(3) 住民税非課税世帯への給付について

答弁 対象世帯は約9,700世帯で、約9億7,000万円を見込む。迅速な給付につなげられるよう調整を進める

質問(4) 困窮する学生への給付について

答弁 対象学生が各大学などに申請を行い、要件を満たしているなど審査し支給されるもの

質問(5) 1人最大2万円のマイナポイント付与について

答弁 マイナンバーカードの新規取得者に最大5,000円相当のポイント、健康保険証として利用登録を行った者に7,500円相当のポ

イント、あとは公金受取口座の登録を行った者に7,500円相当を付与する

質問(6) デジタルトランクスフォーメーション(DX)を基盤とするマイナンバーカードを活用したサービスで、スマートフォンでワクチン接種証明書アプリを利用することについて

答弁 海外渡航時における出入国時のワクチン接種履歴の確認を効率的に

(裏面へ)

(1面からつづく)
に行うことができるとともに、国内においても飲食店やイベント主催者などが提供するサービス等において幅広い活用が想定され、カードの普及促進にもつながると考えられる

二、医療・福祉行政について

質問（1）難聴児の補聴器の購入や修理費の補助について

答弁 現在の制度上、障害者総合支援法に基づく補装具費の支給で対象者及び対象となる補聴器の種類については国により基準が定められている。基本的には聴覚障害による身体障害者手帳を所持している方となっている

質問（2）沖縄市では軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業が実施されているが、本市はどうか。また、実施されている場合、骨伝導補聴器は助成対象とされているのか。

答弁 沖縄県による補助事業を活用し名護市に伝導の仕組みを利用した補聴器でも一部の種類では「助成対象とされていないもの」があり、必要に応じて沖縄県と調整していくたい

質問（3）子宮頸がんワクチン接種の勧奨について

答弁 令和4年度に勧奨する対象者については、標準的な接種期間に当たる中学1年生の女子に加えて、これまで個別勧奨を受けていない定期接種の年齢に該当する女子に対してもよう努め対応する

質問（4）産後ケア事業のさらなる利便性向上について

答弁 令和3年度からの事業開始後、サービスを複数回利用する方が増加しており、利用者からまとめて申請できないとの声も聽かれるところから、状況把握の方法を工夫し、利用申請手続きを簡略化できるよう検討する

質問（5）チャイルドシート（ベビーシート・ジュニアシート含む）の無料貸し出しについて
答弁 子育て支援の施策として何ができるか、その中の優先順位等も勘案し検討したい

三、過疎化対策について

質問（1）名護市の1町4村合併前の旧4村、屋我地、羽地、久志、屋部の過疎化対策と均衡ある発展のために市営住宅政策としてテレワーカースペースを間取りに取り入れることについて

答弁 昨今の働き方の変化に伴い、今後の市営住宅の建設の際には、入居者の世帯状況、就労状況、勤務形態などを踏まえた上でアンケート調査等を実施し、設計業務の参考にしたい

質問（2）総務省が推進する「お試しサテライトオフィス」活用について

答弁 現在事業を進めているワーケーション拠点施設では、企業進出前のお試し期間として入居できる環境づくりも考えていく

質問（3）源河区のテレビ共同受信施設老朽化への対応について

答弁 既存施設の維持管理に該当する内容であることから補助メニューの活用は難しい状況で、市として、活用できる手法の有無について情報収集を継続してまいりたい

四、道路行政について

質問（1）21世紀の森公園西側出入口（ホテルがふいんおきなわ前）の横断報道付近への道路照明設置について

答弁 管理者の沖縄県と調整し設置を検討する



軽石被害に係る意見書
が臨時会において、全会
一致で可決されました。
2021年10月28日

質問（3）LINE公式アカウントの開設による公園や道路損傷などの通報システム構築について
答弁 国から自治体への財政支援などの要件等、情報収集に努めたい
答弁 今後も関係部署と検討を重ねていく

五、軽石問題について

質問（1）軽石の漂流・漂着対策について

答弁 国から自治体への財政支援などの要件等、情報収集に努めたい

六、教育行政について

質問（1）県立名護高等学校附属桜中学校について
県教育委員会は2021年8月19日に北部の中高一貫校の校名を決定しました。2023年4月に開校を予定しているが、本市教育委員会として取組みをお伺いします。

答弁 引き続き情報収集に努めるとともに周知などは協力していくたい。給食提供については、今後も県教育委員会と調整していく

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか？
日刊（1ヶ月 1,887円/税込）
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確
な報道で伝えてまいります。
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259